

探究的な学習の実現に向けた授業づくりに関する調査研究（第2報）

－「総合的な学習の時間」を通して－

研究概要

近年、変化の激しい予測困難な時代に対応できるよう、その解決策を生み出していく資質・能力が強く求められている。本調査研究では、昨年度から、研究主題を「探究的な学習の実現に向けた授業づくりに関する調査研究－総合的な学習の時間を通して－」として研究協力校の授業実践を基に取り組んできた。「探究的な学習」を通して、目の前の課題について多様な他者と協働しながら、目的に応じた納得解を見いだしていく力を育成することの重要性に鑑み、今年度も引き続き2年目の調査研究を進めてきた。

1年次では、探究的な学習指導のポイントとして、「学習を探究的にすること」「他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること」の2点から研究を進めてきた。その結果、「探究的な学習の過程に沿った学習活動を繰り返すことで、子供は自ら課題解決に取り組もうとすること」「身近な教材を取り上げ、実態に応じた手立てを工夫することで、子供は主体的に学習を進めていくこと」「他者と協働して比較・検討、意見交換をすることで、子供は深く考え、事象への認識を深めていくこと」等の成果を確認した。また、子供の関心や疑問を生かし、育てたい子供の姿を意識した「単元デザインシート」や、探究的な学習の過程を実感することができる「学習確認シート」を作成し、授業の具体的な場面で活用した。

これらの1年次の成果を基に、2年次となる今年度は、以下の三つの研究に取り組んだ。研究1では、単元を通して育てたい子供の資質・能力を明らかにし、学習の展開を具体的にイメージすることのできる単元づくりを行った。研究2では、他者と協働して主体的に取り組む学習場面を通して、子供の学びの姿や教師の手立てを分析し、探究的な学習につながる視点を明らかにした。研究3では、学習の過程を探究的にするための「学習確認シート」や、子供が探究的な学習のよさを実感する「学習の手引き」を活用し、教師も子供も探究的な学習の過程を意識しながら取り組む振り返りの在り方を工夫した。

その結果、探究的な学習の過程に沿って学習活動を繰り返すことで、見通しをもって課題解決に取り組もうとする子供の姿を再確認するとともに、協働的に取り組む学習活動を展開することで、子供一人一人の学習の質を高め、同時に集団の学習の質も高めていくことが明らかになった。

<キーワード>

学習過程を探究的にすること
探究的な学習確認シート

協働的に取り組む学習活動
探究的な学習の手引き

児童の豊かな学習の姿
単元デザインシート